

がんばって
いきます!



こどもエコクラブ

～三重県のこどもエコクラブ活動紹介～



郡山小学校PTA野外活動サークル(鈴鹿市)

・会員数27名 ・サポーター数15名 ・クラブの構成 小学校PTA サークル ・代表サポーターの城ノ口さんに聞きました

いつどのようにできたのですか?

郡山小PTA野外活動サークルはH10年度に始まったPTAサークルのひとつで、こどもエコクラブへの登録はH16年度からで、今年で7年目になります。

どのような活動をしていますか?

子ども達や保護者が身近な自然に親しみ、再認識するため、1年を通して活動しています。できるときに無理なく楽しく、野外で活動する感動と面白さを味わっています。毎年環境の日に開催される全国水環境マップ実行委員会の「身近な水環境の全国一斉調査」には、H17年の第2回からH21年の第5回までの調査に参加しました[写真①]。

エコクラブの全国一斉活動「エコロジカルあくしょん大作戦!」にも毎年参加しています。H19年度の「近くでとれたものを食べる」はJECニュースで紹介され、H20年度の「CO₂知って減らそう大作戦」では東芝賞、H21年度の「1(ひと)消



写真①「身近な水環境の全国一斉調査」亀山市関町鈴鹿川上流

し1本10.8グラム!作戦」ではマイアース賞、2年連続で特別賞をいただきました。

環境学習情報センターの講座も多く利用させていただいています。「買い物ゲーム [写真②]」は私たちの活動がきっかけで、学校でも利用するようになりました。「エコッキング」ではキーマカレーをつくり、「風呂敷活用講座」ではかつていい風呂敷の使い方を教えていただきました。



写真②環境学習情報センターの講座「買い物ゲーム」郡山公民館

特色あるオリジナル企画は、河芸マリーナです。「干潟の生き物観察」です [写真③]。生息地の最北端にすむ絶滅危惧種のハクセンシオマネキ、つめの形が特徴的なハマガニ、「しあわせのコメツキガニ」、釣り餌にもなるアナジャコ、丸い形がかわいらしいハマボウフウなど、たくさんの生き物や浜辺の植物について、講師さんの楽しい話をまじえながらのマリーナ観察はあっという間に時間が過ぎてしまいます。



写真③「干潟の生き物観察」河芸マリーナ

どのようなことを子どもに伝えたいですか?

自分で見て、触って、聞いて、嗅いで、味わうといった、リアルな体験から言葉であらわせないおもしろさを伝えたいです。

こども
エコクラブとは

幼児から高校生まで誰でも参加できる環境活動のクラブです。子ども達の興味や関心に基づいて、身近な地域の中でできる活動に自由に取り組みます。

仲間が集まればどんなグループでも「こどもエコクラブ」として登録して活動を始めることができます。

●入会費・登録費無料 ●お問い合わせは環境学習情報センターまで



こどもエコクラブ
イメージキャラクター「エコまる」
<http://www.ecoclub.go.jp>